

中学生・高校生 *****

| | | | | |
|---|--|--|---|--|
|  |  |  |  |  |
| <p>紙コップのオリオン 市川朔久子/著 講談社 ¥1,400</p> <p>中学2年生の論里の母は置き手紙を残して突然家を出ていきました。意外に能天気な父と、妹との暮らしが続く中、学校では創立記念行事として、論里の案でキャンドルナイトが実施されることに。人と人とのつながりが心を温かくする1冊です。</p> | <p>キタキツネの十二か月 わたしのキツネ学 半世紀の足跡 竹田津実/著 福音館書店 ¥2,800</p> <p>「キツネを観れば、ヒトが見える」…北海道の人里近くで暮らす「隣人」、キタキツネの成長、恋、結婚などの生態を50年以上にわたって観察してきた獣医師の、愛にあふれる記録。北の大地に生きるキツネたちのカラー写真も多く収録されています。</p> | <p>光のうつしえ 廣島 ヒロシマ 広島 朽木祥/作 講談社 ¥1,300</p> <p>戦後25年目の広島の日。物語は犠牲者を悼む色とりどりの灯籠流しのシーンから始まります。被爆二世である中学生たちが、身近な大人たちの過去をたどることで、自分たちなりに戦争と向き合います。</p> | <p>負けないパティシエガール ジョン・バウアー/作 灰島かり/訳 小学館 ¥1,500</p> <p>文字の読み書きに大きな問題を抱えているフォスターは、カップケーキを作るのが得意です。ママの元ボーイフレンドから逃げ、暮らし始めた田舎町でカップケーキを通して様々な人と出会います。自分の力で人生を切り開いていくフォスターから元気をもらえる本です。</p> | <p>あと少し、もう少し 瀬尾まいこ/著 新潮社 ¥1,500</p> <p>寄せ集めのメンバーが何もわからない顧問の美術の先生と共に、中学校最後の駅伝で県大会進出を目指して走ります。最初はバラバラだったみんなを引っ張ってきた陸上部員の榊の熱い思いがあふれています。さわやかな青春小説です。</p> |

| | | | | |
|---|--|--|--|--|
|  |  |  |  |  |
| <p>ゴジラ誕生物語 山口理/著 文研出版 ¥1,500</p> <p>昭和29年、日本で初めての本格的な特撮怪獣映画が企画された。CGのない時代に、田中友幸、円谷英二ら多くのスタッフが、創意工夫と試行錯誤を重ねて手作り映画が完成するまでの物語。世界に知られるキング・オブ・モンスターを生み出した人々が、「ゴジラ」に込めた思いとは!</p> | <p>モッキンバード キャスリン・アースキン/著 ニキリンコ/訳 明石書店 ¥1,300</p> <p>ケイトリンは、銃乱射事件で大切な兄を失い、家族は悲しみに暮れるパパだけ。アスペルガー症候群のため、人の気持ちを読み取ることが苦手な彼女が、気持ちの区切りをつけようと努力する中で得たものとは。</p> | <p>マリアンは歌う パム・ムニョス・ライアン/文 ブライアン・セルズニック/絵 もりうちすみこ/訳 光村教育図書 ¥1,600</p> <p>「100年に一度の歌声」と言われたマリアンは幼い頃から歌うことが大好きでした。しかし黒人という理由で様々な屈辱を受けたのです。自らの美しい歌声で黒人音楽家たちの道をひらいた実在の歌手、マリアン・アンダーソンの物語です。</p> | <p>語りつぐ者 パトリシア・ライリー・ギフ/作 もりうちすみこ/訳 さ・え・ら書房 ¥1,600</p> <p>エリザベスは、伯母の家で気詰まりな生活をおくっていましたが、壁にかかる自分にそっくりな少女の古い肖像画に興味を持ちます。少女はズィー。独立戦争の時代を生きたエリザベスの先祖でした。絵が語りつぐ物語を200年後に生きる少女がたどっていきます。</p> | <p>過去への扉をあける ハンス＝ユルゲン・ペライ/作 酒寄進一/訳 童話館出版 ¥1,500</p> <p>北ドイツの小さな町。700年記念祭までの展示に向けて、中学生たちがナチス時代の歴史を調査し始めます。さまざまな立場で当時を経験した人たちと出会い、過去が明らかになる中で、展示を妨害する動きが。戦争を知らない世代が過去を知り、向き合うことで成長する5か月の物語。</p> |

編集・発行 愛媛県立図書館（読書振興グループ）
掲載については出版社の許諾を得ています。無断で転載することを禁じます。

児童書を豊富に取り揃えた
子ども読書室

幅広い分野の児童書を揃え、季節、作家、各種テーマに沿った本の特別展示、掲示の工夫をして、子どもや大人が本を手取るきっかけや本を選ぶ際の支援をします。また、本の紹介や調べものの支援を行い、子どもと本の出会いを応援します。

子どもの読書に関する相談窓口
子ども読書支援センター

地域の読書活動を支えるキーステーションとして、また、子どもの読書に関する総合的な案内窓口として、みなさんの相談に応えます。子どもの読書に関することなら何でも、遠慮なくお問い合わせください。

〒790-0007 松山市堀之内 愛媛県立図書館
子ども読書室・子ども読書支援センター
TEL:089-941-1441(代表) FAX:089-941-1454
http://www.ehimetosyokan.jp/





探検しよう!

本の国

子どもにおすすめの本 2014

愛媛県立図書館



愛媛県イメージアップキャラクター みきゃん



昨年1年間に発行された子どもの本の中から、幼児から中高生までを対象に、50点を選びました。家庭での読書や、学校での読書指導の参考になれば幸いです。価格は、平成26年3月末現在の本体価格です。

| | | | | |
|---|--|---|--|---|
|  <p>きょうはマラカスのひクネネさんのいちにち 樋勝朋巳/文・絵 福音館書店 ¥1,400</p> <p>マラカスは、振ると音がする楽しい楽器です。クネネさんはマラカスが大好き。一生懸命練習して、お友達のパーマさん、フワフワさんと家で発表会を開きました。♪チャッ ウー チャチャ ウー チャッ! 音やリズムが聞こえてきそうな絵本です。</p> |  <p>ぴたっ! あずみ虫/さく・え 福音館書店 ¥1,200</p> <p>歩いていたゾウの親子が向き合って「ぴたっ」。ラッコもキリンの親子も「ぴたっ」。アルミ板を切り抜いて描かれた動物たちからは、ぬくもりが伝わってきます。親子で「ぴたっ」としたくなる本です。</p> |  <p>ペンギンペペコさん だいかつやく 西内ミナミ/作 西巻茅子/絵 すずき出版 ¥1,200</p> <p>ペペコさんは、水族館で生まれたペンギンの女の子。「ショーに出るより、もっと人の役に立ちたい。」そう思ったわってききます。親子で「ぴたっ」としたくなる本です。</p> |  <p>ミルクこぼしちゃん だめよ! ステイヴン・デイヴィーズ/文 クリストファー・コー/絵 福本友美子/訳 ほるぷ出版 ¥1,500</p> <p>ペンダは山にいるお父さんにミルクを届けることにしました。頭の上にお椀を載せて、砂丘を越えて…。小さな女の子の冒険をユーモアたっぷり、愛情たっぷりに描いています。</p> |  <p>ゴナンとかいぶつ モンゴルの昔話より イチノロブ・ガンバトル/文 バーサンスレン・ポロルマー/絵 津田紀子/訳 偕成社 ¥1,500</p> <p>勇敢な少年ゴナンは、村を襲った怪物マンガスに立ち向かいます。三日三晩、すもむを取り続けて勝ったのは?力強い絵が、読者を昔話の世界に引き込みます。</p> |
|---|--|---|--|---|

| | | | | |
|---|---|--|---|--|
|  <p>でんしゃがきた 竹下文子/作 鈴木まもる/絵 偕成社 ¥1,000</p> <p>踏切、地下鉄の駅、終電のホーム…。電車のある風景が丁寧に描き込まれています。人々の生活やドラマさえ感じられて、「電車っていいな」と思えます。最後に描かれているのは、そう、あの鉄道です。</p> |  <p>ふしぎなボジャビのき アフリカのむかしばなし ダイアン・ホフマイアー/再話 ピート・フロブラー/絵 さくまゆみこ/訳 光村教育図書 ¥1,400</p> <p>木の実を食べるためには、木の名前を恐ろしいライオンから聞いて来なくてはなりません。動物たちの言い間違いがおもしろく、カラフルでユーモラスな挿絵も魅力的。アフリカに古くから伝わるお話です。</p> |  <p>おちゃのじかん 土橋とし子/著 佼成出版社 ¥1,300</p> <p>家族でお茶を飲みながら、マテ茶、ミントティー、ロシアンティーなど、世界の楽しい話に花が咲きます。関西弁の仲良し家族の道具や飲み方、お菓子なども紹介してくれます。</p> |  <p>かぜフーホッポ 三宮麻由子/ぶん 斉藤俊行/え 福音館書店 ¥800</p> <p>風の音を表すいろいろな擬音語、風と遊ぶ女の子を描いた絵本。ページをめくると、いろいろな風が見えてきます。これまで気にならなかった小さな自然の音が、大切に思えます。</p> |  <p>これだれの? みやこしあきこ/作 ブロンズ新社 ¥1,300</p> <p>はさみ、聴診器、手紙…「これだれの?」道具がいっぱいのページをめくると、その道具を使って仕事をしている誰かが現れます。やさしい絵と言葉を楽しみながら、道具や仕事を知ることがができます。</p> |
|---|---|--|---|--|

小学1・2年



| | | | | |
|--|--|---|---|---|
| | | | | |
| おばけのクリリン こさかまさみ/作 さとうあや/絵 福音館書店 ¥1,400 幼稚園に住んでいるおばけのクリリン。ときどき先生や子どもに化けて、子どもたちと遊びます。でも、ついおいおけの本性を現してしまつて…。クリリンを思う子どもたちや園長先生の気持ちが、じんわり温かいお話。 | やさしい大おとこ ルイス・スロポドキン/作・絵 こみやゆう/訳 徳間書店 ¥1,700 山のお城に一人で住んでいる心優しい大男は、友達が欲しいのに、村人たちに怖がられていました。でも、かっこいい少女グエンドリンが皆に幸せをもたらします。本当に大切なものは何かを考えさせてくれる本です。 | ちきゅうがウンチだらけにならないわけ 松岡たつひで/さく 福音館書店 ¥1,400 生き物はみな、ウンチをします。このウンチ、肥料になり、えさになり、身を守るために使われ…。自然界では、ウンチが循環して役立っていることを、丁寧に描かれた挿絵と案内役のワンちゃんが優しく伝えてくれます。 | かわいいゴキブリのおんなの子メイベルのぼうけん ケイティ・スベック/著 おびかゆうこ/訳 大野八生/画 福音館書店 ¥1,500 メイベルは、ちょっと太目のかわいいうんなの子…のゴキブリです。お皿に載ったごちそうを食べるのが夢。ある日、ピーボディーさん夫妻がお客様を招くことに。メイベルの夢はかなうのでしょうか。挿絵もすてきです。 | ハナちゃんのトマト 市川里美/作 BL出版 ¥1,400 パパにねだつて、トマトの苗を買ってもらったハナちゃん。夏休みには、田舎にも持って行って、おばあちゃんに教えてもらいながら、トマトを育てます。トマトの生長に一喜一憂するハナちゃんと一緒に、すてきな夏休みを体験しましょう。 |



| | | | | |
|---|---|---|---|--|
| | | | | |
| クモばんぼとぎんのくつした 仁科幸子/作・絵 偕成社 ¥1,000 殻も羽もない、なめくじのニユルは、身を潜めて暮らしています。でも、クモばんぼと仲良くなり、編み物のお店を手伝ううちに、自分のよさに気づき、自信が持てるようになっていきます。著者自身の描く、個性豊かな虫たちの挿絵にも注目! | ジャングル村はちぎれたてがみで大さわぎ! 赤羽じゅんこ/作 はやしやすみ/絵 くもん出版 ¥1,200 ジャングル村の郵便配達、オウムのジジは、おしゃべりに夢中。ジジの代わりに、リスザルの兄弟が葉書を取り出しますが、二つにちぎれてしまいます。脅迫状、ラブレター?!動物たちの大騒動が楽しいお話。 | じゃんけんのすきな女の子 松岡享子/さく 大社玲子/え 学研教育出版 ¥1,100 じゃんけんが大好きな女の子。いつでも、何を決めるのもじゃんけん。ある日、留守番中に現れた大きな猫と、とんでもないことを決める3回勝負をすることに…。女の子は勝てるのでしょうか。猫が出すチョキが傑作です。 | くつかくしたの、だあれ? 山本悦子/作 大島妙子/絵 童心社 ¥1,100 ユキは2年生。ずっと仲良しだったかなちゃんは、新しい友達と外で遊んでばかり。寂しくなったユキは、ある日、かなちゃんのくつをかくしてしまつて…。2人の女の子の気持ちが丁寧に描かれ、共感できるお話です。 | カマキリの生きかた さすらいのハンター 筒井学/写真と文 小学館 ¥1,300 春、卵から200匹ものカマキリの幼虫が生まれます。カマキリが生きることは、かまでものをとらえ、食べていくこと。でも、カマキリも他の生き物のえさとして使われています。厳しい自然界の「食物連鎖」の仕組みを、美しい写真で描きます。 |

小学3・4年



| | | | | |
|---|--|---|--|---|
| | | | | |
| 図書館に児童室ができた日 アン・キャロル・ムーアのものがたり ジャン・ピンボロー/文 デビー・アトウェル/絵 張替恵子/訳 徳間書店 ¥1,600 1871年にアメリカで生まれ、お父さんの読み聞かせが大好きだったアンは図書館員となり、のちに多くの図書館のお手本となるような、明るく温かい雰囲気の子供室を作りました。 | うちは精肉店 本橋成一/写真と文 農山漁村文化協会 ¥1,600 大阪府貝塚市にある市立と畜場。ここでは、牛や豚などの家畜を解体して食肉にする作業を行ってきました。この本は、と畜と小売りを代々の仕事として受け継いできた北出家の様子を白黒写真で紹介したものです。生き物への愛情と感謝があふれています。 | 道はみんなのもの クルーサ/文 モニカドベルト/絵 岡野富茂子・岡野恭介/共訳 さ・え・ら書房 ¥1,500 ベネズエラの貧困者居住区。急速な都市化のために、遊ぶ場所を奪われた子どもたちは、市役所に、「公園を作ってほしい」と要望します。最初は取り合わなかった人々も懸命な訴えに、心を動かされ…。実話をもとにしたお話。 | 金色のライオン 香山彬子/作 佃公彦/絵 復刊ドットコム ¥1,800 ルイルイ小学校1年生のリンタは、ある日、ライ麦畑の中で、金色のたてがみを持つ大きなオスのライオンに出会いました。ライオンは、こはく色のとてもおいしい飲み物「ビスク」が飲みたくて、アフリカから日本にやってきました。リンタとライオンの心温まる友情の物語。 | ホッキョクグマが教えてくれたこと ぼくの北極探検3000キロメートル 寺沢孝毅/著 あべ弘士/絵 ポプラ社 ¥1,200 自然写真家である著者は、あるとき、流氷の量が年々減ってきていることに気づきました。その原因を探るため、探検隊を作り、北極の海に乗り出します。地球の自然を守ることに大切さを、ホッキョクグマの生態を通して教えてくれる本です。 |



| | | | | |
|--|---|---|---|---|
| | | | | |
| つなみ てんでんこはしれ、上へ! 指田和/文 伊藤秀男/絵 ポプラ社 ¥1,300 東日本大震災が起こった日、岩手県釜石市の海沿いの町へも大津波が襲ってきました。近くには小中学校、幼稚園、老人施設があり、小さい子どもからお年寄りまで、手をつなぎ、助け合つて高台を目指し、無事に生き延びたのです。 | りんごかもしれない ヨシタケシンスケ/作 プロンズ新社 ¥1,400 ある日学校から帰って来ると、りんごが1個テーブルの上に置いてありました。おやつりんごでしょうか?いやいや、これはりんごじゃないかもしれない。そう思ったところから、想像の世界が広がります。読みながら、思わず笑ってしまう1冊です。 | トランプおじさんと家出してきたコブタ たかどのほうこ/作 にしむらあつこ/絵 偕成社 ¥1,200 動物のことが話せるトランプおじさんは、動物たちの人気者です。ある日、コブタのトウモロウがやって来て、おじさんの家に住みついてしまいます。どうやら、コブタには深刻な悩みがあるようなのですが…。 | この羽 だれの羽? おおたぐろまり/作・絵 偕成社 ¥1,600 校庭や公園に鳥の羽が落ちていたのを見たことはありませんか?羽の持ち主は、スズメ、ツバメ、ハト、いったいどんな鳥なのでしょう?私たちの身近にいる鳥の羽の実物大イラストや、羽の役割、特徴などを分かりやすく紹介した絵本です。 | 図書館のトリセツ 福本友美子・江口絵理/著 スギヤマカナヨ/絵 講談社 ¥1,200 トシヨクさんとカンコちゃん「えんぴつ」の作り方を調べに図書館へやって来ました。たくさんの中から、2人は無事に調べることができたのでしょうか?図書館を上手に使いこなすための方法が分かりやすく、おもしろく書かれた本です。 |

小学5・6年



| | | | | |
|---|---|---|---|--|
| | | | | |
| カステラ、カステラ! 明坂英二/文 斎藤芽生/絵 福音館書店 ¥1,300 はるか昔、遠い海の向こうからやってきたお菓子、カステラ。日本に渡ってきた歴史とその後の日本でのカステラ作りについて知ることができます。本から甘い香りが漂ってきそう。カステラが食べたくなる1冊です。 | 切り株ものがたり 今井恭子/作 吉本宗/画 福音館書店 ¥1,200 山の衆と里の者の秘密の交流の場である「切り株」。7歳の修一は一人で切り株に出かけ、隠れて見た山の衆の女の子に強くひかれます。そこから修一の人生は大きく変わっていくのです。 | マッチ箱日記 ポール・フライシュマン/文 バグラム・イノトウリン/絵 島式子 島玲子/訳 BL出版 ¥1,600 小さい頃、読むことも書くこともできなかったひいじいちゃん、マッチ箱にその日の思い出の品を入れて日記に書いてきました。その日記を紐解きながら、ひいじいちゃんがひ孫に半生を語ります。 | ぼくは満員電車で原爆を浴びた 11歳の少年が生きぬいたヒロシマ 米澤鐵志/語り 由井りょう子/文 小学館 ¥950 1945年8月6日。母と2人、電車に乗っていた少年は、突然の強い光とすさまじい音の後に爆風に襲われます。ずっと後になってわかったのはそれが原子爆弾だったということ。11歳の少年が見たままの戦争の事実が語られます。 | テラプト先生がいるから ロブ・ブイエー/作 西田佳子/訳 静山社 ¥1,600 アメリカのある小学校で、5年生になった7人の子どものうち1人の新米先生と出会います。テラプト先生と接するうちに、いろいろな悩みを抱えている子どもたちは心を開くようになります。そんな時にすべてを変えてしまう事件が起こり…。現役教師が描くリアルな物語です。 |



| | | | | |
|--|---|---|--|---|
| | | | | |
| ミサゴのくる谷 ジル・ルイス/作 さくまゆみこ/訳 評論社 ¥1,600 スコットランドで保護鳥とされているミサゴが11歳の少年、カラムの家の農場に巣を作っていました。最初に見つけたのは、同じクラスの少女アイオナです。アイオナとカラムはそのミサゴをよびよせ、観察を続けます。渡り鳥であるミサゴがつながる国境を越え、人の絆を感じるすることができます。 | おどろきのスズメバチ 中村雅雄/著 講談社 ¥1,200 スズメバチは、毒針で人を襲うため害虫として見られがちですが、知れば知るほど多くの発見と感動があります。巧みな巣作り、女王バチと働きバチ、幼虫たちの不思議な関係…意外と知られていないスズメバチの生態をのぞいてみては。 | パンプキンロード 森島いずみ/作 狩野富貴子/絵 学研 ¥1,300 5年生の早紀は3月11日の大津波で唯一の家族である母を失いました。しかし、6年生になり、母の友達から祖父の存在を知らされます。山梨に移り、戸惑いながらもおじいさんと生活を始めて、いろいろな経験を通して、早紀はゆっくりと成長していきます。 | 狛犬の佐助 迷子の巻 伊藤遊/作 岡本順/画 ポプラ社 ¥1,300 明野神社にある狛犬には、150年前に狛犬を彫った石工の親方と弟子の佐助の魂が宿り続けています。2人の声が届く。6歳の翔太と一緒に、迷子の犬を探すが、…。心が温かくなるファンタジーです。 | いしのはなし きれいでみぎでやくにたつ、ちいさなきゆう ダイアナ・アストン/文 シルビア・ロング/絵 千葉茂樹/訳 ほるぶ出版 ¥1,500 石は、自然が長い時間をかけて作り出した地球からのメッセージなのです。ごちゃまぜの石、役に立つ石、宇宙から飛んできた石など、石の秘密がぎゅぎゅと詰まっています。美しいイラストの知識絵本です。 |